

日時・場所	平成29年11月6日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、大藤議会事務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長（代理：服部次長）、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- 3連休には様々な行事があった。大畑の団地が整備されてから40周年ということで大畑自治会が記念式典とイベントを開催された。旧来の集落であれば創立何十周年ということはないが、市内のいくつかのいわゆる新興団地といわれたところも整備から40年、50年が経過しており、それぞれ健全な地域社会が確立できているからこそ、整備から何十周年として祝うことができる。これは非常に良いことである。  
また、長島自治会では初めてレクリエーションを兼ねた防災訓練を開催された。最近では昔に比べて雨などがひどくなっているためということだが、高齢化の要因も大きい。昔と同じレベルの災害であっても、高齢者の避難や安全確保が困難になっている。昔と変化がないと思われることでも変化が起こっているということ十分に認識しておくこと。
- 制度設計はできるだけ簡明にすること。現在検討してもらっているのは就学前の支援金の支払い方法であり、国が想定している制度では選択制になったり貸付になったりするが、当事者のことを考えて原点に戻り、できるだけ簡明な制度設計をするように心掛けること。その他の分野についても、国や県の制度は継ぎ足しになっているため、ついつい枝葉に継ぎ足すことで複雑になってしまいが、当事者の視点、職員の職務の簡便性を考慮し、制度に反しない限り、できるだけ分かりやすく簡明な制度設計をすること。
- 学区行政懇談会が始まり、各部で課題や見通しを整理してもらっているが、組織での対応になると良い意味で積み上げ型になるので、明確な回答ができていない。これは仕方がないことであるが、部長が答えるという観点から、もう一段メリハリのある回答をすること。文書で要望が提出され組織として回答を整理すると、どうしても角を矯めたような、尖りがない答えにならざるを得ない。何とか答えようとして回答文書を口頭で読んでしまうと、言葉だけは連なっているが、どの方向をめざして何をしようとしているのか、何が言いたいのが分からなくなる。各部次長が責任を持って検討した上で回答すること。行政懇談会は課題が多岐にわたっており、私も実質的には事前に皆と十分に議論をする時間がなく、その都度の対応という認識だが、各部次長は組織の中でしっかりと議論をし、もう一段明確な回答ができるよう工夫すること。

## 2. 報告事項

### ① 市道西河原乙窪線植樹帯の桜倒木による車両破損事故について（台風21号関連）

〔所管： 都市建設部〕

平成29年10月23日（月）午前4時10分頃、市道西河原乙窪線を西方向へ向かう自動車が走行中、台風21号の風圧により私有地の杉の木3本が倒れ、その木に正面衝突する事故が発生した。さらに、その事故車両の上に市道の植樹帯に植えられた桜の木が倒れ、車の屋根が破損した。現在、損害保険会社を交えて被害者と示談交渉を行っている。

なお、本件による負傷者は無しである。

→通常管理の瑕疵にあたるかどうかについて整理しておくこと。

### ② 全員協議会への提出事項について

〔所管： 総務部〕

報告事項7件、会議結果報告事項1件、連絡事項3件を11月度全員協議会へ報告する。追加等がある場合は、総務課まで連絡願う。

## 3. 協議事項

なし

## 4. その他伝達事項

- 本日11月6日から、野洲市の女性消防団（YFL）と東消防署職員による市立保育園への防火訪問が順次実施される。（市民部）
- 11月9日（木）午前9時より、第5回野洲市議会臨時会が開催される。日程については、明日7日に議会運営委員会協議会で協議の上、決定される。結果は、同日午前10時からの全員協議会で報告がある。（議会事務局）

5. 次回部長会議の予定  
11月13日（月） 8時45分～ 庁議室